

「臨床婦人科産科」 第 55 巻 総目次

2001 年 (第 1 号～第 12 号)

数字は通巻頁数, () は号数

今月の臨床

●性感染症—胎児から癌まで(1)

<Overview>

1. 女性優位の STD 時代—STD
の最近の動向……………熊本 悦明……10
 2. 感染症新法による分類と取り扱い方……………松田 静治……20
 3. ピル解禁と性感染症……………北村 邦夫……24
- #### <性感染症と産婦人科疾患>
1. 外陰・腔感染症の鑑別診断……………菅生 元康……28
 2. 付属器炎・PID の起炎菌……………保田 仁介……32
 3. 子宮頸癌とパピローマウイルス
……………前田 信彦・南 邦弘・熊本 悦明……35
 4. 不妊症とクラミジア……………長田 尚夫……38
 5. 早産と上行性感染……………竹田 省……42
 6. 性器ヘルペス合併妊娠……………滝沢 憲……46
 7. 梅毒合併妊娠……………辻岡 寛・瓦林達比古……48
 8. 母子感染—HIV……………戸谷 良造……52
母子感染—肝炎ウイルス
……………稲葉 憲之・大島 教子・深澤 一雄……58
- #### <性感染症の最新の治療法>
1. クラミジア感染症……………野口 昌良……62
 2. 性器ヘルペス症……………今中 基晴・森村 美奈……65
 3. 梅毒・淋菌感染症……………淵 勲……68
 4. HIV 感染症……………照屋 勝治・岡 慎一……72

●妊娠中毒症—新しい視点から(2)

<概念と定義の変遷>

1. 米欧の考え方の違い
……………竹村 昌彦・神崎 徹・村田 雄二……106
2. 日産婦の定義と解説
……………木下 勝之・竹田 省……110

<新しい病因・病態論>

1. 免疫学の視点から……………藤井 知行……114
2. 血管内皮細胞の障害
……………正岡 直樹・山本 樹生……120
3. 血液の凝固・線溶異常

- ……………中林 正雄・磯野 聡子……125
 4. 血管攣縮の機序……………小林 隆夫……128
 5. 妊娠中毒症における臓器血流と
その変化
……………中井祐一郎・峯 眞紀子・鈴木晋一郎
西尾 順子・荻田 幸雄……………134
 6. 妊娠中毒症と胎盤……………畑 俊夫……139
- #### <管理と治療>
1. ハイリスク症例における発症予
防……………山口 昌俊……144
 2. 妊婦の栄養管理と中毒食……………江口 勝人……148
 3. 高血圧の治療……………北中 孝司……152
 4. Chronic DIC への対応
……………佐藤 秀平・齋藤 良治……158
 5. 胎児の管理……………久保 隆彦・一ノ橋祐子……162
 6. ターミネーションのタイミング
……………松尾 博哉……166
- #### <関連疾患の管理>
1. 子癇……………前田 和寿・青野 敏博……170
 2. HELLP 症候群……………水上 尚典・佐藤 郁夫……174
 3. 急性妊娠脂肪肝……………安水 洗彦……178
 4. 常位胎盤早期剝離
……………渡辺 博・石川 和明・稲葉 憲之……182
 5. 肺水腫……………中村 靖……187

●腹腔鏡下手術—知っておくべき最新情報(3)

<概説>

1. 腹腔鏡下手術の将来展望……………三橋 直樹……226
2. 腹腔鏡下手術のトレーニングシ
ステム……………寒河江 悟・藤井 美穂……228

<疾患別の手技・適応と限界>

1. 不妊症……………小森 慎二……231
2. 子宮筋腫……………森田 峰人……234
3. 卵巣腫瘍—臨機応変な対応から
……………伊熊健一郎・山田 幸生・牛越賢治郎
森 龍雄・呉 佳恵・子安 保喜……238
4. 子宮内膜症
……………可世木久幸・松島 隆・三並 伸二

石原 楷輔・荒木 勤	245
5. ロキタンスキー症候群	堤 治 251
6. 子宮脱・膀胱脱・尿失禁	松元 隆・西 睦正・伊藤 昌春 254
<手技の工夫, 注意点>	
1. 吊り上げ法	井坂 恵一 257
2. Downsizing operation	廣田 穰・宇田川康博 262
3. 婦人科悪性腫瘍における後腹膜リンパ節郭清	安藤 正明・伊熊健一郎・吉岡 保 266
4. 妊娠中の腹腔鏡下手術	杉並 洋 270
5. 高齢者における腹腔鏡下手術	干場 勉 274
<合併症と対応策>	
1. 術中損傷	松崎 幸子・村上 節 278
2. 術後合併症	塩田 充・星合 昊 282
3. 麻酔合併症	釘宮 豊城 286

●婦人科医のための乳癌検診(4)

<基礎>

1. 乳房の構造—マンモグラフィ, 超音波で何がみえるか?	角田 博子 316
2. 乳腺の組織—正常乳腺, 乳腺症, 良性乳腺腫瘍	山本 洋介 321
3. 乳房の発達とホルモン—女性のライフステージと乳房の変化	苛原 稔・上村 浩一 鎌田 正晴・青野 敏博 328

<疫学と発生>

1. 乳がんは増えているか?	岩成 治 333
2. 乳癌のリスクファクターは?	谷口 一郎 339
3. 乳癌の発生とエストロゲン	鎌田 正晴・上村 浩一・前川 正彦 苛原 稔・青野 敏博 344
4. 遺伝性乳癌と婦人科領域の家族性腫瘍との関連について	佐川 正 352
5. 乳腺症と乳癌の関係	寺本 勝寛 360
6. 乳癌の分類と病理組織—スピキュラ, 石灰化との関係	坂元 吾偉・五味 直哉 366
7. 乳癌の増殖と進行度—非触知癌が触知されるまで	福富 隆志・明石・田中定子 371

<視触診>

1. 自己検診の指導法	上村 浩一・苛原 稔
-------------	------------

鎌田 正晴・青野 敏博	374
-------------	-----

2. 視診・触診の方法と所見, 乳頭分泌の取り扱いについて	齋藤千奈美・佐川 正・藤本征一郎 379
3. 乳癌と乳腺症の鑑別	山片 重房 384
4. 乳頭部にピラン・湿疹を見つけ	たら 伊波 茂道・妹尾 亘明 390

<マンモグラフィ>

1. どのような症例にマンモグラフィを行うか?	岩瀬 拓士 394
2. 撮影方法とブラインドー読影可能な写真を撮る方法	笹 三徳 400
3. 腫瘍の見つけ方とカテゴリー診断	伊藤 誠司 406
4. 石灰化の見つけ方とカテゴリー分類	山口 和子 414
5. その他の所見(構築の乱れなど)の見つけ方とカテゴリー分類	竹下 茂樹 420
6. マンモグラフィと放射線被曝	松本 満臣・加藤 二久 426

<超音波検査>

1. 乳癌超音波検診の勧め—Whole breast scanning の有用性	武部 晃司・中村 光次 436
2. 異常所見の見つけ方と良悪性の鑑別および有用性—マンモグラフィと比較して	植野 映 444
3. カラードップラー法による乳腺腫瘍の良悪性の鑑別—乳癌を中心に	土橋 一慶・森田 哲夫・大川 欣栄 450

<細胞診>

1. どのような症例に細胞診を行うか	辛 栄成 455
2. 穿刺吸引細胞診のコツ	元村 和由・南雲サチ子・菰池 佳史 稲治 英生・小山 博記 460
3. 偽陰性と偽陽性	池永 素子 464

<その他の診断法>

1. 乳管造影の適応とコツ	藤光 律子・岡崎 正敏 470
2. どのような症例に組織診を行うか	駒木 幹正 476
3. CT, MRI の有用性	増田 裕・関 恒明 482
4. 腫瘍マーカーの使い方	

……園尾 博司・山本 滋・山本 裕… 493
＜乳癌検診の実際＞

1. マンモグラフィを導入した乳がん検診システムーガイドライン
……永井 宏・永井 堅… 502
 2. フォローアップ症例に対する説明と取り扱い……森本 忠興… 508
 3. 産婦人科医に対する研修システムのあり方・現状と問題点……土橋 一慶… 514
- ＜治療の現状＞

1. 非浸潤性乳管癌の取り扱い
……石田 孝宣・森谷 卓也・大内 憲明… 518
2. 乳癌手術の動向……田島 知郎… 524
3. 乳房温存治療の考え方……高橋かおる… 530
4. 乳癌のホルモン療法の基本……佐野 宗明… 538

●一歩先行く超音波胎児検診(5)

＜妊娠初期＞

1. 見逃しやすい異所性妊娠……本田 育子… 560
2. 見逃しやすい合併妊娠……箕浦 茂樹… 564
3. 初期からわかる異常……夫 律子… 568
4. Nuchal translucency の意義
……近藤 俊吾・高橋 通・畑 俊夫… 577

＜妊娠中期＞

1. 胎児形態異常スクリーニングの実際
1) 頭頸部……片桐 信之… 580
2) 胸部(含む心臓)……根木 玲子… 586
3) 腹部……根本 明彦… 591
4) 骨格, 四肢の異常一大腿骨
長が短い場合の対応と骨形
成異常の診断……梁 栄治… 594
2. 21トリソミーの超音波マーカー……米本 寿志・吉田 幸洋… 598
3. 臍帯の異常(付着部位異常, 過捻転, 巻絡など)……宇津 正二… 602
4. 前置胎盤と低置胎盤の鑑別
……関谷 隆夫・石原 楷輔… 606
5. 頸管観察とストレステスト……沖津 修… 612
6. 双胎におけるチェック
……上野 和典・上原 克彦・宮崎 豊彦… 614

＜妊娠後期＞

1. 胎児 well-being の評価……篠塚 憲男… 618
2. 羊水量の評価
……佐藤 昌司・藤田 恭之・中野 仁雄… 622
3. 骨盤位分娩前の最終チェック
……竹田 善治・坂井 昌人… 627

- 中山 摂子・中林 正雄… 627
4. 子宮下節帝切痕の評価
……佐藤 章・柳田 薫・藤森 敬也… 630

●Obstetrics is a bloody business(6)

＜分娩時出血への対応＞

1. 原因・頻度と鑑別診断
……大口 昭英・佐藤 郁夫… 660
2. 出血性ショックの特徴
……石川 睦男・玉手 健一… 665
3. 圧迫止血と子宮収縮剤の使い方
……草薙 康城・伊藤 昌春… 671
4. 輸血, 輸液の実際
……英 久仁子・植田 充治… 674
5. DIC の治療……中林 正雄・磯野 聡子… 678
6. 血液疾患合併妊娠の分娩管理
……高橋 剛・木村 芳孝・岡村 州博… 682

＜分娩時出血の診断・治療のポイント＞

1. 常位胎盤早期剥離
……大橋 涼太・金山 尚裕… 688
2. 前置胎盤・低置胎盤……升田 春夫… 692
3. 産道損傷
1) 子宮破裂……高木耕一郎… 696
2) 頸管裂傷……柳原 敏宏… 700
3) 腔壁・会陰裂傷……小林 浩一… 704
4) 外陰部血腫・腔血腫・後腹
膜血腫……伊原 由幸… 708
4. 癒着胎盤……松田 義雄・河野 哲志… 712
5. 子宮内反症……天野 完… 716
6. 弛緩出血
……庄野真由美・庄野 秀明・岩坂 剛… 722
7. 胎盤遺残
……林 瑞成・朝倉 啓文・荒木 勤… 726

●排卵誘発の問題点ー新しい工夫と対策(7)

＜排卵誘発＞

- A. クロミフェン
1. 抗エストロゲン作用
……熊谷 仁・福田 淳・田中 俊誠… 760
 2. 低妊娠率ーその対処法と治療
限界の見極め
……木元 正和・森岡 信之・深谷 孝夫… 763
 3. 他剤との併用療法……後山 尚久… 766
- B. プロモクリプテン, テルグリド
1. 副作用対策……綾部 琢哉・森 宏之… 774
 2. 抵抗症例への対応……田坂 慶一… 776

C. hMG-hCG

1. OHSS の予防

- 1) GnRH, LH による卵胞破裂 (排卵) 促進
……………福岡 秀興・大石ひとみ… 780

- 2) hCG キャンセルの基準

田原 隆三・藤間 芳郎・岡井 崇… 786

2. 多胎妊娠の予防

- 1) 低用量漸増法

安藤 一道・水沼 英樹・峯岸 敬… 792

- 2) FSH-GnRH パルス療法

桑原 章・苛原 稔・青野 敏博… 794

- 3) hMG のパルス療法

……………神野 正雄・中村 幸雄… 796

D. 卵巣への外科的治療

1. 多嚢胞性卵巣 (PCOS) に対する腹腔鏡下レーザー療法

…森田 峰人・中熊 正仁・平川 舜… 800

2. チョコレート嚢胞への処置…原田 省… 804

<IVF-ET>

1. OHSS の予防 ……神谷 博文・森若 治… 806

2. 多胎妊娠の予防……………小林真一郎… 812

3. 超多胎妊娠への対応—多胎減数

手術の文献的考察……………石原 理… 816

4. Poor responder の対策

……………中川 浩次・山野 修司・青野 敏博… 820

5. 排卵促進をしない採卵……………福田 愛作… 824

●遺伝子医療—現状と将来 (8)

<出生前の遺伝子診断>

1. 遺伝子診断の対象疾患

……………奥山 和彦・藤本征一郎… 860

2. 羊水検査による診断

- 1) 代謝性疾患の遺伝子診断

……………左合 治彦・北川 道弘… 864

- 2) 神経筋疾患の遺伝子診断

……………木村 武彦・関沢 明彦… 868

- 3) 骨格異常の遺伝子診断……………澤井 英明… 874

- 4) 染色体異常の DNA 診断…佐村 修… 878

- 5) 胎児風疹感染の遺伝子診断

……………種村 光代… 881

3. 母体血中胎児細胞を用いた遺伝子診断……………濱田 洋実… 884

4. 母体血漿中胎児 DNA を用いた遺伝子診断

……………渡邊 顕・関沢 明彦・岡井 崇… 888

<生殖医療における遺伝子診断>

1. 排卵障害に関する遺伝子

……………安田 勝彦・中嶋 達也・神崎 秀陽… 892

2. 受精に関する遺伝子診断

……………久保 春海・雀部 豊・西村 崇代… 896

3. 着床に関する遺伝子診断

……………高井 教行・宮川 勇生… 900

4. 精子の遺伝子診断……………吉田 淳… 904

<悪性腫瘍の遺伝子診断, 遺伝子治療>

1. 癌遺伝子診断の現状……………井上 正樹… 908

2. 卵巣癌・乳癌の遺伝子診断

……………永田 寛・田中 憲一… 914

3. 癌遺伝子治療の現状……………島田 隆… 918

4. p53 遺伝子を用いた癌の遺伝

子治療……………藤原 俊義・田中 紀章… 922

5. 絨毛癌の遺伝子治療

……………佐々木 茂・磯崎 太一… 928

6. 癌遺伝子治療の将来

……………加藤 秀則・近藤 晴彦・和氣 徳夫… 934

●子宮外妊娠—新しい視点から (9)

<総論>

1. 疫学と最近のトピックス

……………林 博章・藤井 哲哉・山下 剛
中田 俊之・片山 英人・石川 睦男… 988

2. ART と子宮外妊娠

……………柴原 浩章・大野 貴史・鈴木 達也
角田 哲男・高見澤 聡・佐藤 郁夫… 974

3. 子宮外妊娠の治療法の変遷と展

望……………岩下 光利… 979

<診断の要点>

1. 急性腹症における鑑別診断……………竹田 省… 982

2. 初期 (中絶前) 診断の要点

……………松浦 講平・岡村 均… 988

3. 部位別の特徴

1) 卵巣妊娠……………椋棒 正昌・出田 和久… 992

2) 卵管間質部妊娠……………是澤 光彦… 996

3) 頸管妊娠……………鈴木 健治… 999

4) 子宮筋層内妊娠 (帝王切開

創への着床)

坪倉 省吾・後山 尚久・東山 俊祐…1002

5) 腹腔妊娠……………矢野 樹理…1008

6) 内外同時妊娠……………岩崎 克彦…1011

7) Persistent ectopic pregnancy

藤下 晃・浜崎 哲史・石丸 忠之…1014

<治療の工夫>

1. 腹腔鏡下手術

1) 適応と限界

伊熊健一郎・山田 幸生・牛越賢治郎
森 龍雄・呉 佳恵・子安 保喜…1020

2) 術式の工夫

廣田 穰・塚田 和彦・宇田川康博…1026

2. 腔式手術の試み

……野田 直美・高倉 哲司・豊田 長康…1030

3. 頸管妊娠の子宮動脈塞栓術……板倉 敦夫…1034

4. MTX 療法……川内 博人…1038

<保存療法の予後>

1. 各種治療法別の妊孕能

……高島 邦僚・石川 雅彦・平原 史樹…1041

2. 絨毛存続症……生田 克夫…1044

●ライフスタイルの変化と女性の健康(10)

<ライフスタイルの変化と健康への影響>

1. 晩婚・少産・少子……武谷 雄二…1084

2. 就業女性の増加……安達 知子…1090

3. 生活の利便化と栄養の偏り

……廣田 孝子・廣田 憲二…1096

<ライフスタイルの変化とホルモン依存性疾患>

1. 月経異常

……大場 隆・田中 信幸・岡村 均…1102

2. 子宮内膜症・子宮腺筋症

……吉田 壮一・原田 省・寺川 直樹…1106

3. 子宮筋腫……刈谷 方俊・藤井 信吾…1109

4. 乳腺の良性疾患……弥生 恵司・岸渕 正典…1112

<ライフスタイルの変化と悪性腫瘍>

1. 子宮体癌……佐藤奈加子・吉川 裕之…1116

2. 卵巣癌……小西 郁生・岡 賢二…1118

3. 乳癌……清水 幸子…1122

<ライフスタイルの変化と妊娠・出産>

1. 高齢妊娠・出産……辰村 正人…1128

2. 不妊・不育

……齊藤 英和・金子 智子・倉智 博久…1131

3. 若年妊娠……海野 信也…1134

4. 低用量経口避妊薬(OC)の影響

……早乙女智子・安水 洸彦…1137

<ライフスタイルの変化と生活習慣病>

1. 心血管系疾患……佐久間一郎・北畠 颯…1140

2. 糖尿病……杉山 隆・豊田 長康…1144

3. 心身症……玉田 太朗…1150

●周産期救急と周産母子センター(11)

<21世紀の周産期医療とセンターの役割>

……佐藤 郁夫…1204

<周産期救急と母体搬送>

1. 切迫早産

……平野 秀人・真田 広行・小原 幹隆…1207

2. 妊娠中毒症……小林 信一…1212

3. 出血性疾患……小林 隆夫…1214

4. 感染症……松田 義雄…1218

5. 胎児仮死と IUGR

……鮫島 浩・岡田 俊則…1221

6. 偶発合併した救急疾患, 特に急

性腹症を呈する症例……中田 好則…1224

7. 母体搬送の準備と手続き

……杉本 充弘・池谷 美樹・佐藤 千歳…1228

<新生児の異常と搬送>

1. 新生児搬送システムのあり方……木下 洋…1231

2. 搬送すべき新生児の徴候とタイ

ミング……竹内 敏雄…1234

3. 新生児搬送の準備と手続き……田村 正徳…1238

<周産母子センターの構想と現状>

1. 行政の立場から……藤崎 清道…1242

2. 地域の現状

1) 東京都……中林 正雄…1245

2) 大阪府……末原 則幸…1248

3) システムが進む富山県の周
産期医療……館野 政也…1252

4) 山口県
中村 康彦・佐世 正勝・中田 雅彦…1256

<周産期救急にかかわる医事紛争>

1. 最近の傾向……市川 尚…1260

2. 紛争の防止対策……谷 昭博…1263

●子宮内膜症治療のストラテジー(12)

<総論>

1. 子宮内膜症の疫学と最近の特徴

……武谷 雄二…1300

2. 治療法の変遷……小畑幸四郎・星合 昊…1304

3. 治療に必要な病因・病態の理解

……石丸 忠之…1308

<各論>

1. 診断, 病態の把握に必要な検査

……田原 隆三・藤間 芳郎・岡井 崇…1314

2. 治療方針の立て方……原田 省…1318

3. 不妊治療と子宮内膜症

……太田 博孝・田中 俊誠…1321

4. 疼痛への対応

- ……泉谷 知明・森岡 信之・深谷 孝夫…1324
5. 薬物療法
- ……田坂 慶一・坂田 正博・田原 正浩…1328
6. 子宮内膜症における治療方針の
選択—保存治療および手術療法
における選択と新しい試み
- ……古谷 健一・村上 充剛・松田 秀雄
牧村 紀子・永田 一郎・菊池 義公…1334
7. 特殊型への対応……………奥田喜代司…1340
8. 再発例の取り扱い方……………杉並 洋…1344
- <その他の留意点>

1. 急性腹症と子宮内膜症
……………澤口 啓造・野口 昌良…1350
2. 体外受精治療と子宮内膜症
……柳田 薫・片寄 治男・佐藤 章…1352
3. 卵巣癌の合併……青木 陽一・田中 憲一…1355

カラーグラフ

●知っている役立つ婦人科病理

19. What is your diagnosis?
……………広川 満良・四宮 禎雄… 7(1)
20. What is your diagnosis?
……………泉 美貴・向井 清… 103(2)
21. What is your diagnosis?
……………森谷 卓也・遠藤 希之… 223(3)
22. What is your diagnosis?
……………泉 美貴・向井 清… 313(4)
23. What is your diagnosis?
加藤佳瑞紀・永井雄一郎・岸本 充
清水 道生・石倉 浩…………… 557(5)
24. What is your diagnosis?
……………福永 真治… 657(6)
25. What is your diagnosis?
……………清水 道生・伊藤 智雄… 757(7)
26. What is your diagnosis?
……………福永 真治… 857(8)
27. What is your diagnosis?
大塚 紀幸・伊藤 智雄・清水 道生… 965(9)
28. What is your diagnosis?
……………伊藤 智雄・清水 道生…1081(10)
29. What is your diagnosis?
……………清川 貴子…1201(11)
30. What is your diagnosis?
島田 志保・廣瀬 隆則・清水 道生…1297(12)

Estrogen Series (矢沢珪二郎)

47. 更年期後のホルモン補充療法と
乳癌との関係—エストロゲン単
剤とエストロゲン+プロゲステ
ン組み合わせとの比較 その2…………… 90(1)
48. 更年期後のホルモン補充療法と
乳癌との関係—エストロゲン単
剤とエストロゲン+プロゲステ
ン組み合わせとの比較 その3…………… 173(2)

病院めぐり

- 市立岸和田市民病院……………立山 一郎… 86(1)
- 日生病院……………廣田 賢二… 87(1)
- 東京都立墨東病院……………武永 博… 190(2)
- 高槻病院……………辻本 大治… 191(2)
- 松下記念病院……………本山 敏彦… 298(3)
- 仙台市立病院……………齋藤 晃… 299(3)
- 大阪回生病院……………谷 俊郎… 644(5)
- 岡山赤十字病院……………江尻 孝平… 645(5)
- 北野病院……………矢野 樹理… 736(6)
- 住友病院……………志村研太郎… 737(6)
- 社会保険神戸中央病院……………中田 恵… 836(7)
- NTT 東日本関東病院……………安水 洸彦… 837(7)
- 船橋市立医療センター……………鈴木 康伸… 944(8)
- 旭中央病院……………宇野 雅哉… 945(8)
- 成田赤十字病院……………上杉 健哲…1052(9)
- 市立堺病院……………杉田 長敏…1053(9)
- 公立学校共済組合近畿中央病院
……………繁田 実…1164(10)
- 大阪府立病院……………池上 博雅…1165(10)
- 亀田メディカルセンター……………亀田 省吾…1276(11)
- 大阪市立総合医療センター
……………松本 雅彦・山本久美夫…1277(11)
- 島根県立中央病院……………岩成 治…1364(12)
- 福井赤十字病院……………岸 淳二…1365(12)

原著

- 自然閉経後女性のエストロゲン補充
療法前後における血漿中ホモシ
テイン濃度の変化についての検討
……………星本 和倫・大藏 健義… 76(1)
- 経産婦における 50 g-GCT による
妊娠糖尿病のスクリーニング—前
回妊娠時スクリーニング結果との
関連についての検討

…岩田 守弘・林 正美・金井 利仁 脇本 昭憲・木 哲……………1175(10)	
当科における若年子宮体癌の臨床的 検討—特に妊孕性温存を施行した 症例について	
…橋本 歳洋・山田 秀和・渡辺 尚文 高野 芳正・森村 豊・柳田 薫 佐藤 章……………1366(12)	

症例

人工妊娠中絶後に形成された胎盤ボ リープに対して Transcervical Resection (TCR) が有用であった 1 例……………竹田 明宏・真鍋 修一 河合 志乃・渡邊 義輝… 82(1)	
先天性アンチトロピンⅢ欠乏症合 併妊娠の 1 例	
…野村 祐久・伊藤 誠・西迫 潤 杉浦 智子・松原 英孝・千原 啓 高田 亨・石井シゲ子…………… 208(2)	
巨大粘膜下筋腫の経頸管的摘出—バ ゾプレッシン局所投与とレゼクト スコープの併用	
…山田 隆・武内 享介・岡田 十三 本山 覚・丸尾 猛…………… 634(5)	
AFS class III子宮奇形、重複腔、片 側腔不完全閉鎖、留膿症例の経会 陰超音波所見について	
……………佐藤賢一郎・水内 英充…1055(9)	
パクリタキセルを用いた卵巢癌化学 療法後に肺出血をきたした 1 症例	
…樋田 一英・矢島 正純・伊地知律子 岡村 恵子・石巻 静代・太田 博明…1061(9)	
頑固な便秘を伴った卵巢甲状腺腫性 カルチノイドの 2 例	
……………成松 昭夫・吉岡 尚美…1065(9)	
経腹超音波上で高輝度を示す羊水所 見の臨床的意義について	
……………佐藤賢一郎・水内 英充…1181(10)	
自動縫合器を用いた LAVH 後に起 きたイレウスの 1 例	
…伊熊健一郎・渡邊喜久雄・山田 幸生 牛越賢治郎・森 龍雄・呉 佳恵 子安 保喜……………1186(10)	
卵巢腫瘍と術前の鑑別診断が困難で あった腸間膜原発の heman-	

giopericytoma の 1 例

…横須賀 薫・梅崎 泉・相羽早百合 山根 貴夫・山下 由紀・畑中 正行 吉田 一成・梁 英樹……………1279(11)	
付属器摘出後に発生した胎児心拍陽 性遺残卵管峡部妊娠に対して腹腔 鏡下卵管摘出術が有用であった 1 例……………河合 志乃・竹田 明宏 真鍋 修一・中村 浩美…1283(11)	

臨床経験

癌性腹膜炎に対する IL-2, OK 432, CPM および PSK 併用免疫化学 療法の臨床的検討	
…寺内 文敏・植野 りえ・小倉 久男… 840(7)	
ハイリスク症例に対する transcer- vical resection の有用性について	
……………佐藤賢一郎・水内 英充 塚本 健一・藤田 美惺… 948(8)	
若年子宮筋腫核出症例の臨床的検討	
……………朝野 晃・丹野 治郎 明城 光三・和田 裕一…1372(12)	
細菌性腔症とその関連疾患……池田 和則…1376(12)	

Current Practice

ダイオキシシンと性差：イタリア セ ヴェソでのダイオキシシン汚染の経 験から……………矢沢珪二郎… 61(1)	
ピルと肺塞栓：増加するが、絶対数 は僅少……………矢沢珪二郎… 327(4)	
精管切断術の信頼度はどのくらい か？……………矢沢珪二郎… 351(4)	
精管結紮術の反転または再吻合 ……………矢沢珪二郎… 404(4)	
不妊症検査にはクラミジア抗体検査 も必要……………矢沢珪二郎… 501(4)	

Coffee Break

1900 年のロンドン留学—その 2— ……………増崎 英明… 34(1)	
標準的治療の実施について……森本 忠興… 513(4)	

婦人科腫瘍切除標本の取り扱い方

1. 婦人科腫瘍切除標本取り扱いの 基本……………工藤 隆一・寒河江 悟… 194(2)	
2. 術中迅速組織診断のための切除	

- 標本の取り扱い方
 ……土岐 利彦・小西 郁生… 290(3)
3. 子宮頸癌切除標本の取り扱い方
 ……大野 正文… 640(5)
4. 子宮頸癌切除標本の取り扱い方
 山崎 文朗・徳永 藏・岩坂 剛… 732(6)
5. 子宮体癌切除標本の取り扱い方
 上坊 敏子・新井 正秀・蔵本 博行… 831(7)
6. 子宮体癌切除標本の取り扱い方
 ……佐藤 重美… 939(8)
7. 卵巣腫瘍切除標本の取り扱い方
 杉山 徹・大田俊一郎・嘉村 敏治…1047(9)
8. 卵巣腫瘍切除標本の取り扱い方
 ……植田 政嗣…1156(10)
9. 絨毛性疾患切除標本の取り扱い方
 吉永 浩介・森谷 卓也・今野 良…1267(11)

10. 絨毛性疾患切除標本の取り扱い方
 ……永井 宣隆…1358(12)

座談会

最近の避妊法—銅付加 IUD を中心として

…我妻 堯・早乙女智子・三島 典子… 201(2)

薬の臨床

産婦人科手術後の腸管運動賦活に対する大建中湯の有用性

…本山 覚・横田 光・丸尾 猛… 739(6)

Luncheon Seminar

OCs and HRT vs. Cancer—疫学的

研究の概観 ……Frank Melchert…1167(10)